

Zoom 例会の改善 および HP 活用配信について

藤波進

## 【Zoom 例会の改善】

## ・ 提案したいこと

- (1) Zoom 例会を複数人で運用する体制にする
- (2) Zoom 有料契約する

## ・ 解決したい問題

現在、会員がリモートで例会などに参加できるよう、一人体制で Zoom 運用しているが、入室許可がスムーズにできず参加希望者に待ってもらうことがある、ハウリング対策やマイクの切り替えに手が回らず Zoom 参加者が聞こえにくくなることもある、パソコンのフリーズやバッテリー切れなどの突発事故で Zoom 配信が中断してしまうことがある、40 分ごとに切れるため例会が中断して司会者、講演者、遠隔参加者、会場参加者（Zoom 中継に伴い待ってもらうことがある）などにストレスがかかる、Zoom 運用者の負担が大きい（操作に手を取られ実質上、例会に参加できない）、Zoom 運用者が欠席すると Zoom 配信できなくなる（だから欠席しづらい）、などの問題が起こっています。

## ・ 改善の見込み

「Zoom 例会を複数人で運用する体制にする」「Zoom 有料契約する」の両方を実施することにより、これらの問題を改善できると見込まれます。

## ・ 改善のための投資

## (1) 人の投資

複数人運用できるよう、8/15 に 4 人で打合せし、体制を整えつつあります

## (2) 金の投資 … 14.99 ドル/月。月額約 1,650 円、年額では約 2 万円（¥110/\$ で計算）

会員との共同使用や会員への有料貸出などにより創生塾の経済的な負担を減らせる可能性はあるが、まずは創生塾で全額負担したのち改善を図りたいと考えています。

## ・ その他

現在藤波個人のアカウントを使っているが創生塾のアカウントに切り替えることとなります（取得済み・無料）。そのため、例会参加の時の URL などが変わります（これまで通り Zoom 参加申告者に事前に送る。参加者の手続きとしては変わらない）

## 【HP 活用配信】

## ・ 提案したいこと

HP を利用して、資料を配信することにする

## ・ 解決したい問題

現在は資料をメール添付で送っています。会員の I T 環境は様々で、添付資料の容量が

大きくなると、配信できない人が発生します。誰に発信できないかは、添付資料の容量により変わり、事前に予想できません。

不達メール（送ったメールが届いていないとシステムが通知してくる）が発信者に戻ると、届いていないことが分かるので、複数の資料を送っていたのを分けて何回かに分けて送ることになりますが（とても手間がかかる）、大きな資料は分割することができず、届けられないこともあります。

さらに、必ずしも発信者に不達メールが来るとは限らず、その場合、送った方は届いていると思っているが、実際にはその会員は受け取っていないということが発生します。

#### ・解決する方法

- ① 最近立ち上げ創生塾のホームページ（HP）の「会員専用」に資料を入れる
- ② 会員に「会員専用」に資料を入れた旨連絡する
- ③ 会員は「会員専用」で資料を閲覧したり、そこから取り出して活用する

#### ・期待できるメリット

- ① IT環境が脆弱な会員にも資料を確実に届けることができる
- ② 配信する作業が楽になる（早く確実に届けられる）
- ③ 資料はHPに保存されているので、会員が個々に管理する必要はなく、いつでも（例えば数か月後でも）閲覧したり活用したりすることができる
- ④ 特にスマホで受ける人は、通信量を節約できるメリットが大きい
- ⑤ 会員がHPを閲覧する機会になる（情報を掲載しても見に来ないと意味がない）

#### ・懸念されること

- ① 最近立ち上げ創生塾のホームページ（HP）の「会員専用」に資料を入れる  
→ HP管理者の負担が増える
- ② 会員に「会員専用」に資料を入れた旨連絡する  
→ 配信者の手間は減る。良いことだけ
- ③ 会員は「会員専用」で資料を閲覧したり、そこから取り出して活用する  
→ 慣れている人は、特に問題はないだろうが、パスワードを入れる操作が入っているので少し複雑です。この操作がよくわからない人に説明することが必要になるかもしれません。説明しても使えない人が出てくるのか、出てきたときどうするか、の問題が発生するかもしれません。

#### 【ご参考】

なお、私の意見としては、ホームページ全体へのリンクもありますが、通知メールの「〇〇資料」の文言自体にリンクを貼れば便利と思います。また、名簿や機密事項のない内容なら、別に暗証を掛ける必要も薄いように思います。

また、例会で話し合しましょう。

齋木

以上